

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	つくば市福祉支援センターとよさと		
○保護者評価実施期間	令和 7 (2 0 2 5) 年 1 月 2 1 日 ～ 令和 7 (2 0 2 5) 年 2 月 2 1 日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	2 8 家庭	(回答者数) 1 7 家庭
○従業者評価実施期間	令和 7 (2 0 2 5) 年 1 月 2 1 日 ～ 令和 7 (2 0 2 5) 年 2 月 2 1 日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数) 4
○事業者向け自己評価表作成日	2 0 2 5 年 3 月 12 日		

○ 分析結果

	事業所の強み (※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	親子通園であり、保護者と職員がコミュニケーションをとりやすい	保護者様と活動を通して、お子様の様子を共有し、課題や成長を都度確認している。お子様の様子からこういう手立てでやってみようなどと提案をさせてもらったり、その場面と一緒にいることでより具体的になる。また、ご家庭での様子や在籍園での様子等をお聞きし、手立てを一緒に考えることができる。	今後もお子様一人一人に対して、全職員が理解を深め、発達や行動観察する力をより身につけ、子どもの発達ニーズに応じた活動内容の提供、保護者様、お子様に寄り添った支援をしていけるようにしたい。
2	保護者会があること 小集団クラスであり、保護者同士の交流の機会がある	クラス懇談会を年 2 回実施し、保護者同士の横のつながりがもてるようにしている。勉強会を実施し、保護者の学びの場の提供をしている。 保護者会があり保護者会での座談会、勉強会の実施をしている。合同開催の際は、場所や機材の提供、講師との日程調整もしながら円滑に行えるようにしている。	クラス懇談会の回数を増やし、より充実した交流ができるようにしていきたい。また、保護者様からの要望などをうかがいながら内容の検討をしていきたい。引き続き、保護者会への協力をしていくようにしたい。
3	発達相談、医療相談を年 3 回程度実施している	大学の先生、発達外来の医師に来ていただき、お子様の行動やかかわりについての相談機会があり、無料で利用できるようになっている。年 1 回程度、座談会という形で、勉強会を行っている。	引き続き、相談機会を設け、保護者様のニーズに合わせ、相談場の提供を行っていきたい。

	事業所の弱み (※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	マニュアル関係の周知が不十分であり、非常時の対応に関する評価が低い	マニュアルとしては策定しており、重要事項説明には記載されているが、契約時のみの説明にとどまり、周知機会が不足している。情報開示、伝え方等も弱く、正しく理解されていない部分もある。	職員間でも共通理解のもち、非常時の対応について、定期的な情報共有、掲示など情報伝達に努める必要がある。
2	地域との交流機会が不足していること	「保育所や幼稚園等の交流や活動する機会」の提供はできていない。徒歩圏内に幼稚園等の施設がなく、交流に際しての移動問題もある。また、併行通園が多く在籍園で交流できている。	保護者様の要望をうかがいながら、必要とされている交流の方法を検討していく。
3	活動プログラムの固定化	年中長に関しては月 2 回と回数が少ない中で、活動が定着し、安定するまでに時間が要することもあり、ある程度活動プログラムは固定化している。その中でも、小さな変化やスモールステップを意識して活動に取り入れている。保護者様に対して、説明が足りていないことが要因と考えられる。	保護者様への説明を十分に行うとともに、より計画的に幅広い経験や深い学びができるようにしていきたい。